

生誕

100年

永井路子展

「歴史とは何か、人間とは何か」を問い続けた歴史小説家
永井路子の生誕100年記念展。



撮影：松尾順造

2026年 2月21日(土)～3月22日(日)

観覧無料

鎌倉芸術館ギャラリー 2 ※3月4日(水)・18日(水)は休館

《時間》10:00～17:00(入場は16:30まで)

主催：鎌倉市 制作：(公財)鎌倉市芸術文化振興財団

生誕

100年 永井路子展

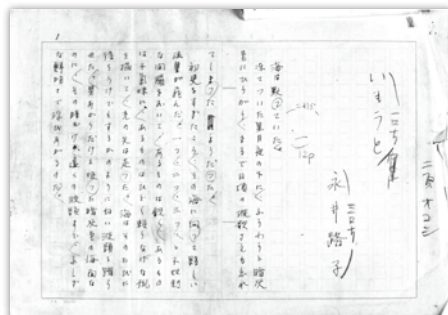
鎌倉市名誉市民記念「永井路子」展にて
夫の歴史学者 黒板伸夫と

歴史小説家で鎌倉市名誉市民の永井路子(1925-2023)は、青春時代の敗戦体験を出発点として、『炎環』『北条政子』『氷輪』など、数多くの作品を発表しました。「歴史とはなにか、人間とはなにか」を問いつづけ、英雄史観にとらわれず、周辺の人々によって歴史の流れが形成されること、なかでも女性の役割に着目し、独自の歴史観をもって歴史小説を著わしました。描く時代は、鎌倉時代を軸に、奈良時代から現代まで幅広く、また歴史上の人物や事柄をユーモラスに綴るエッセイでも人気を博しました。本展では、永井の故郷である茨城県古河市の古河文学館の貴重な資料と鎌倉文学館の資料により、永井路子の生涯をたどりながら、その文学の魅力をご紹介します。

本展は、永井路子が鎌倉と古河両市の名誉市民であったことをきっかけに、令和5年に締結された文化観光交流協定事業として実施する、古河文学館・鎌倉文学館の巡回企画展です。なお、鎌倉文学館が大規模改修で休館しているため、鎌倉では鎌倉美術館を会場に開催します。



3歳の時の手形・足形 古河文学館蔵



原稿「いもうと」(『炎環』より) 古河文学館蔵



原稿「北条政子」 鎌倉文学館蔵

関連イベント

トークイベント「素顔の永井路子」

2026年 3月7日(土) 14:00～《鎌倉美術館3階会議室1》

登壇者：石井哀草果氏(永井路子令妹)、秋澤正之氏(古河文学館館長)
聞き手：井上弘子(鎌倉市芸術文化振興財団学芸員)

定員 50名

《無料》《事前申し込み制》《1申し込みにつき1名まで》

※応募多数の場合抽選

申し込み期間 2026年 2月3日(火)～2月17日(火)

※はがきは必着

※詳細は(公財)鎌倉市芸術文化振興財団のHP
<https://www.kamakura-arts.or.jp/>



申し込み方法

左記のHPの申し込み専用フォームもしくは、はがきで申し込み。
はがきは、①氏名②郵便番号・住所③電話番号を記入の上、
〒248-0016 鎌倉市長谷1-5-3 鎌倉文学館内イベント係)まで郵送。
応募多数の場合は抽選し、当選者に2月24日(火)までに、はがきでお知らせします。

学芸員によるギャラリートーク

(各回15分程度) 参加自由

2月28日(土) ①11:00～ ②14:00～

3月10日(火) ①14:00～

3月15日(日) ①11:00～ ②14:00～

会場案内

【鎌倉美術館ギャラリー2】

鎌倉市大船 6-1-2 鎌倉美術館 1階

《アクセス》

鎌倉美術館へはJR大船駅東口・笠間口から徒歩約10分。

《電話》0467-48-5500(9:00～19:00)



問い合わせ

鎌倉市共生共創部文化課
電話:0467-61-3872
※平日8:30～17:00

展示およびイベントの問い合わせ

(公財)鎌倉市芸術文化振興財団
電話:0467-23-3911(鎌倉文学館内)
※平日8:30～17:00